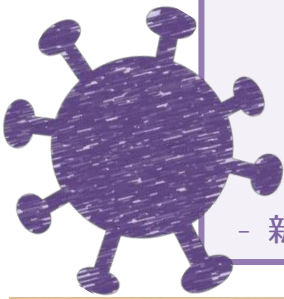


R2.6.23～7.22

感染対策

院内研修会

- 新型コロナウイルスから身を守るためのガウンテクニック実践 -



秋冬に予想「真の第2波」に備えて

現在、当院では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)へのさまざまな対策を実施しております(HP参照)。幸いにも院内感染は起こっておりませんが、秋冬に向けてインフルエンザも含めた真の第2波が予想されます。今回は、医療機関に出来る備えとして、全職員を対象に「新型コロナウイルスから身を守るためのガウンテクニック実践」を実施しました。

参加者は、事前にガウンテクニック動画を閲覧し予習した後に参加してもらい、「密」にならないように日時と班構成を分散し開催しました。総勢120名超のスタッフを50班に振り分け、約1ヶ月かけて研修会を実施しました。少人数制で行うことで指導する側も受ける側も内容の濃い研修会が行えたのではないかと思います。



「自分も周りも守れるように」「知らないことをしれてよかった」「現場の方は大変！」

【看護師】

実際に体験できたので手順を知ることができて良かった。

ウイルスは目に見えないのでしっかり手順を守って自分も周りも守れるようにしていきたいです。

【理学療法士】

事前に予習をしていたが手順を覚えておらず戸惑った。今回は練習でしたが、現場で同じ状況になった時に感染のリスクがかなり高いと感じました。今回はそれを知ることができてよかった。

【看護助手】

本当にこの防護服を着て働いている現場の方は大変！

体力も気力も倍以上の力を出さねばならない苦労・努力頭が上がりません！



「自分自身の再確認」

人に指導するのは難しく、教える側も自分が理解できていないと説明できないため、今回の研修が自分自身の再確認を行う良い機会になりました。また、どの程度ガウンテクニックが浸透しているかも知ることができました。



「指導するポイント」

普段は医療的な業務を行わないコメディカルの方々は、ガウンを脱ぐ時にとっても苦戦している印象でしたが、各スタッフの実際の着脱を観ることで、指導していくポイントが分かってきました。



「個別のアドバイス」

一人ひとりにアドバイスできて良かった。実戦を経験する機会がない人でも、今回の体験を通じて現場の大変さを理解してもらえたと思う。これからにつなげるために、定期開催の必要性を感じました。



安心して医療を受けられる病院として

これまでに院内感染(クラスター)が発生してしまった病院における、厚生労働省クラスター対策班の現地調査支援報告では、今回実施した「正しい個人防護服の使用と適切な廃棄」の他に、「手指衛生の徹底」「環境消毒」「ゾーニングの理解」「スタッフのストレスを極力減らす」ことが感染拡大防止策につながると報告されています。当院では手術も含めて通常診療を再開しております。安心して医療を受けられる病院として、感染対策の活動を継続し、今後も情報発信や啓蒙活動に取り組んでいければと思います。